

ポーランド・マクロ経済情勢

2021年7月
在ポーランド日本国大使館
経 済 班

ポイント

1 景気は持ち直しの動きが続いている

2019年のGDP成長率は4.7%で、引き続き好調な経済成長を遂げた（2017年は4.8%、2018年は5.4%）。景気は、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の影響等により厳しい状況が続いていたが、ワクチン接種の進展や制限措置の緩和等もあり、持ち直しの動きが続いている。2020年5月、COVID-19の影響等を勘案し、金融政策委員会は政策金利を史上最低の0.1%に再度引き下げるなど金融市場安定化のために金融政策を緩和。

2 生産及び消費は持ち直している

2021年5月の鉱工業生産は対前年同月比29.8%増、小売販売は対前年同月比13.9%増。生産及び消費は持ち直している。

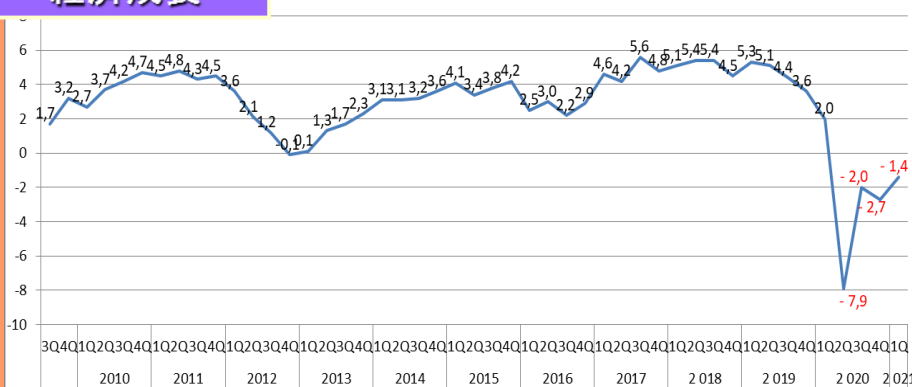
3 物価は上昇

2021年5月の消費者物価指数（CPI）は、対前年同月比4.7%上昇。4月に引き続き、中央銀行のインフレ目標値2.5±1%を上回った。

4 雇用情勢は弱さは残るものの持ち直しの動き

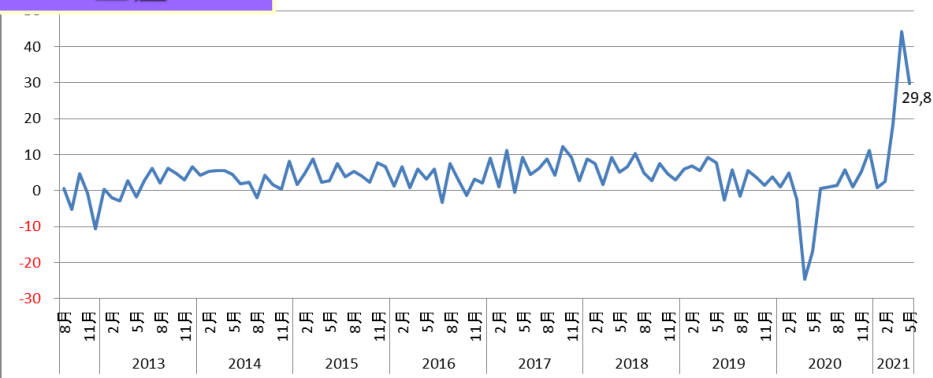
2021年5月の失業率は6.1%、平均賃金上昇率は対前年同月比10.1%増。失業率は前月から0.2%減少。COVID-19の影響により、雇用情勢は弱さは残るものの持ち直しの動きが見られる。

経済成長



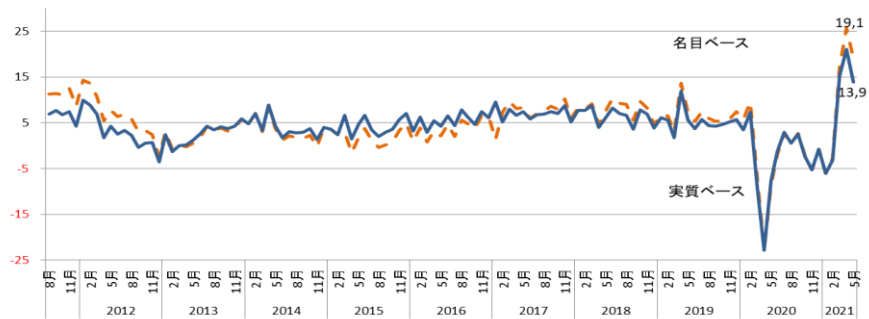
新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の影響等により厳しい状況が続いていたが、このところ持ち直してきている。

生産



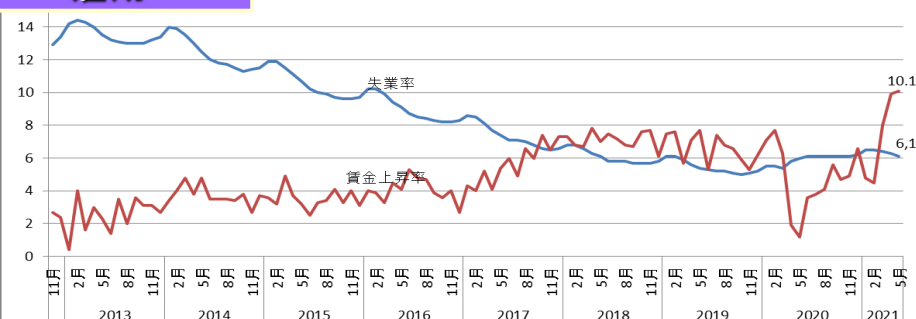
5月の鉱工業生産は対前年同月比29.8%増と持ち直している。

消費



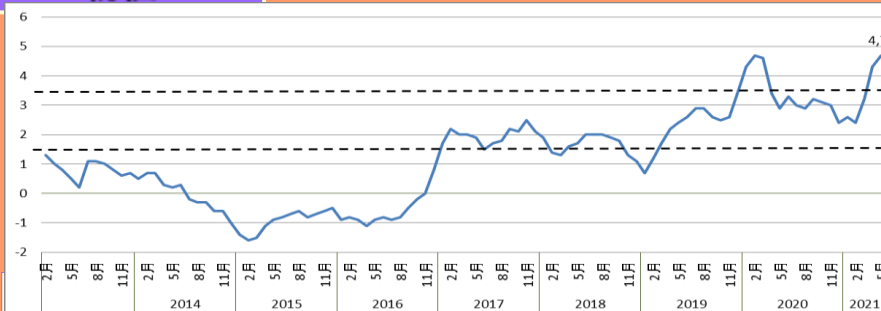
5月の小売販売は対前年同月比13.9%増と持ち直している。

雇用



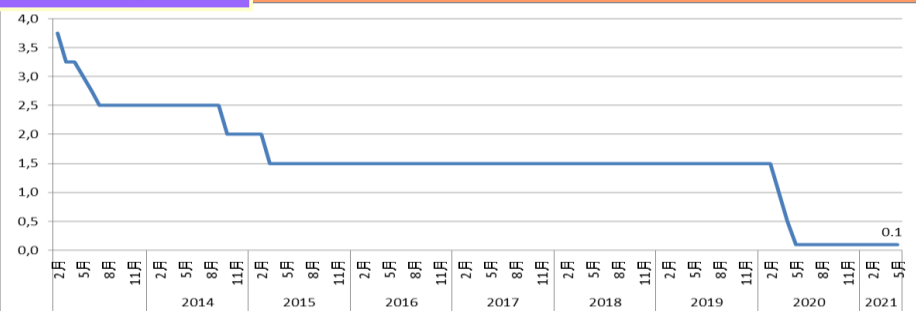
5月の失業率は6.1%で前月から減少。平均賃金上昇率は対前年同月比10.1%増に上昇。

物価



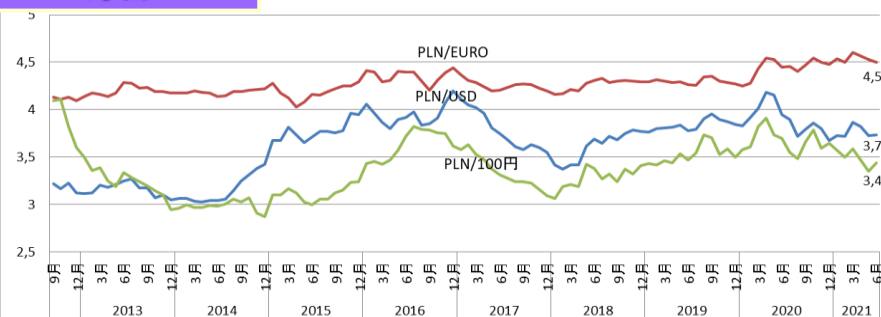
5月のCPIは対前年同月比4.7%上昇。4月に引き続き、中央銀行のインフレ目標値2.5±1%を上回った。

金利



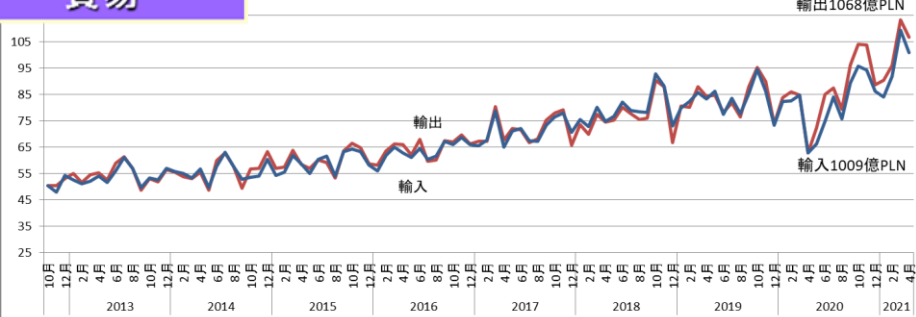
2020年5月、COVID-19の影響等を勘案し、政策金利を史上最低の0.1%に再度引き下げるなど金融市場安定化のために金融政策を緩和した。

為替



6月の平均為替は、対ユーロ(4.50ズロチ)でズロチ高、対ドル(3.74ズロチ)及び対日本円(3.44ズロチ)でズロチ安が進んだ。

貿易



4月の輸出は約1,068億ズロチ、輸入は約1,009億ズロチで約59億ズロチの貿易黒字となった(3月は40億ズロチの貿易黒字)。